

歴代 CIR のメッセージ

歴代	写真	名前	在任期間	コメント
第1代		りひょう 李彪	2002.4. ～2004.3	都城、初マラソンのところ、懐かしいウェルレスロード。都城の皆さん、お元気でね！
第2代		きんこうばい 金香梅	2004.4. ～ 2005.4.	
第3代		らけんひん 羅顕斌	2005.4. ～ 2006.4.	
第4代		ようそう 楊爽	2006.4. ～ 2007.4.	霧島連山から吹き付ける凜とした風、人情の厚いお爺さんお婆さんの笑顔、希望に輝く子供たちの瞳。都城が私にとっての日本のベースになっており、私が中國の人々に伝えた日本のベースになっています。
第5代		あいふおん 艾豐	2007.4 ～2008.3	

第6代		り 李 小妹 りょうしゅ	2008.4 ～2009.3	お久しぶりですね。いつしか十年も経つた。市役所、中央公民館、牟田町、各小学校、よく行ったスーパーなどを時々夢に見た。都城市にいたこの一年間、本当に一生の宝物だと思っている。都城、また会いたいですね。
第7代		たく 翟 悅 たくしょく	2009.4 ～2011.3	悔いのない2年間を送りました。今でも都城の素晴らしさを世界中の人々に分かってもらいたい気持ちがいっぱいですね。いつも暖かく応援してくれた皆さん、またどこかでぜひお会いしましょう。
第8代		とう 陶 婉悠 とうとう	2011.6 ～2012.4	私は都城の豊かな自然、都城市民の優しさに引かれ、これからもずっとここで暮らしていきたいと思い、日本で就職しました。 日本側でより多くの人たちに重慶市江津区を知ってもらうよう努力していきたいと考えます。

第9代		かん 管 いんり 尹莉	2012.4 ～2013.4	江津と都城との縁になった国際交流員の一員として、都城の皆さんと一緒に過ごした懐かしい一年間をいつまでも忘れず、これからも友好交流に力を尽くしていきたいと思います。
第10代		おう 王 しん 新	2013.4 ～2014.4	ミヤコンジョを立つ朝、部屋の洗面所で、何年ぶりに一人で涙を流しました。豊かな自然、親切な人々、暖かい日々を手放さなければならぬ遺憾とせつなさには、なかなか耐えられませんでした。
第11代		しゅ 朱 えん 嫣	2014.4 ～2015.4	一年間の滞在、一生の縁。私を暖かく見守ってくださった一年間のすべてのこととは心の中に強く刻みこまれ、皆様方のご期待に背かぬようしっかり頑張ります。友好都市の事業も江津の四面山、都城の霧島のように永遠に保たれるようにと願っております。

第12代		じょ 徐 星	2015.4 ～2016.4	都城にさようならを言ったのは何年前のことだったが、今でもそのせつなさを覚えている。何年が経っても、このきれいで、温情に満ちた町を忘れず、心から愛している。
第13代		ちょう 張 穎	2016.4 ～2017.4	都城を離れて6年間も経ちましたが、毎朝「おはよう」って声をかけてくださった市民たち、学校訪問の時熱心に聞いてくれた子供たち、お世話になっていた同僚たち、お休みの日にお家まで誘ってくれた親友たち、皆様の笑顔が永遠に心の底に残っていると信じています。
第14代		きょ 許 錦	2017.4 ～2018.4	学校での母国文化紹介活動、ラジオへの出演、市民向けの中国語講座、国際交流イベントへの参加など、楽しい国際交流を幅広く進めてきました。仕事もプライベートもどちらも充実した一年でした。

第15代		せん 錢 けいぶん 慧 文	2018.5~	皆さんと様々な形を通じて触れ合うことができて、とても嬉しく思います。両地域がより一層お互いの理解と友好関係が深めることに力を出したいと思います。
------	--	---------------------	---------	--